

## 飯田市議会タウンミーティング(TM)に関するオンラインミーティング ふり返しメモ

(日時) 令和2年7月30日

(会場) 第1委員会室

### 1 TM企画のねらい

ふだん広聴する機会が少ない市民層の声を拾い、政策資源を得ようとする。

### 2 土山先生の指摘事項

#### ●二律背反になる可能性

多様な意見を聴く←→政策資源になる深い意見を聴く(少人数相手が向いているのでは)

#### ●テーマが煮詰まっていなくて「雑談」のような対話になるのではないかと。

この場合の雑談：日頃の話から漠然と動き出す状態

#### ●今まで接点がなかった人とのファーストコンタクト

差し迫った課題がない人を誘い出す(TMを開催するから来てという)のは難しい。

動機がなかった人を引っ張り出すには理由付けが必要。

人が動くのは「必要」「楽しい」のどちらか、あるいは両方。

- ・「議会を良くする(まちを良くする)ためにあなたの時間を下さい！」が基本スタンスではないか。
- ・「ファースト・コンタクト+α」の意識付け。いきなり政策資源を得ようとするのではなく、「話し合いにふさわしい場」の設定を。
- ・社文の課題共有型えんたく会議は、同僚の話の冒頭で聴きながら参加者の「あるある」を引き出す手法。これを参考に前半は課題設定型、後半は自由討論型という組立ても考えられる。

#### テクニカルな提案の例示として

- ・若者に参加してほしいければ選挙人名簿を活用したDMの発送+お目当ての人の一本釣り
- ・中学高校へは校内ポスター掲示、生徒会への招待状発送
- ・自由研究に応用できる企画(議場バックヤード見学、中高生モニター認定証など)
- ・人形劇フェスタなど祭り・イベントで議会ブースを設けてスピーチや意見交換会

#### 総社市議会「市民フォーラム」の例

- ・議会が決定した事案について、参加者に「Yes」or「No」とコメントを書いてもらう。
- ・議決事案に対して「No」が多ければ、審議経緯を議員が説明する。  
例) 英語教育特区の設置は公平か不公平か
- ・議員の説明を受け、フォーラムが活気づく。
- ・議決事案の報告は面白くないかもしれないが、事業の動きは継続しているので議会活動に生かせる。

### 3 TM以外への提案

#### ●グループトークの意味

「2人」だと煮詰まった際にフリーズする場合がある。

「5人以上」は誰かの顔色をうかがってしまう。

「3人～4人」が適正規模（「許された私語」という見方も含めて）

#### ●議会報告会の運営について

・参加者に意見を「書いてもらう」という方法。「議会について」「身の回りの困りごとについて」の大別

テーマで色分けし、ポストイットで貼り出す“可視化”

・答えを返してもらいたい人には、ポストイットの裏面に氏名等を記入してもらう。

#### ●聞き役が留意する点

・言葉には「情報」と「文脈」がある。

「きょうは良い天気ですね」には情報が全くないが、なぜその状況で・振る舞いで…を自然に解釈する。